

2019年度 シラバス

教科	体育	科目	体育	学年	3
				コース等	全コース
	使用教科書	『現代高等学校保健体育改訂版』大修館書店		履修単位数	S2・AB4・スポ6
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの楽しみ、喜びを味わせながら心身の発達のために体力や技能を高めさせる。 ・健康の保持増進に努める態度を育成する。 ・生涯スポーツとして運動、スポーツに親しめるようにする。 			評価の観点	授業態度・出席状況・提出物・実技の取り組みなどを総合的に判断し、評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の実施 ・体力テストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で安全面に配慮しながら学習する態度を育成する。 ・自己の体力を理解する。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようにする。 ・運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を築くために効率的な学び方を理解する。 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、体ほぐし運動、体力を高める運動の実施 				
6	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 運動、スポーツの学び方 				
7					
9					
9	男子種目				
10	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー・フットサル・ソフトボール・ハンドボール 				
11	女子種目				
12	<ul style="list-style-type: none"> ・テニス・ソフトテニス・バドミントン・卓球 ・バスケットボール・バレー 				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会に向けた練習(リレー・縄跳びなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫をして、総合的な技能を身につける。 ・チームワークを大切にして積極的にゲームに参加する。 ・互いにチーム内での存在意義を理解させ、技術向上に努める。 ・細かいルール(反則等)を習得させ、試合運営に活用する。 ・実技演習として、専門性の高い学習活動と技能習得に努める。(年間15回～20回) 			
2	使用できる施設の関係で年間を通じて学年で種目を決めてローテーションで実施				
3					
副教材					